



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和2年度 8月号

成長できる2学期に！

校長 松本浩一

よく考えてみると、学校だよりの8月号を書くのは初めてです。夏休みが短縮され、本来なら9月1日が始業式ですが、夏休み明けということで8月24日に始業式を行いました。

異例の1学期でした。日常会話で「今日は300人だって!」「今日は400人超えた!」というだけで通じてしまうようになった東京都のコロナ感染者数。毎日、コロナウイルス感染症の話題は尽きることがありませんでした。尾張旭市におけるコロナ感染者数も少しずつ増えていき、緊張感のはしる毎日となりました。

そんな中、1年生は旭中にもすっかり慣れ、中学校生活をとても楽しんでいる姿が目立つようになりました。また、2・3年生にとっては、多くの活動が制約され、我慢することが要求されてきましたが、感染症対策を通じて、これまでとはちがった成長の道筋をたどることができたと感じます。その結果、身体も大きくなりましたが、特に心の成長が大きかったと思います。

短い夏休みが終わりました。短かった上にコロナウイルス感染の再拡大で、出かけたり帰省したりせずに家で過ごした人も多いと思います。いずれにしても、このような夏休みは一度だけの経験で済んでほしいものです。

さて、いつもの年より長い2学期が始まりました。しかも、例年なら1学期に行っている



修学旅行、野外活動が2学期に延期され、体育大会や文化発表会等の行事がぎっしり入っています。加えて3年生は、進路の決定もしていかなければなりません。とてもハードな2学期となります。しっかりと意識して行事にも学習にも取り組まないと、あっという間に一つ一つが過ぎ去ってしまいます。

「クラスの誰かがやってくれる」「それは自分の仕事じゃない」と言っているのではなく、「自分がこれをする」「自分が引き受ける」という姿勢で臨んでください。その姿勢からさらに人としての成長、生きる力が身につくと思います。

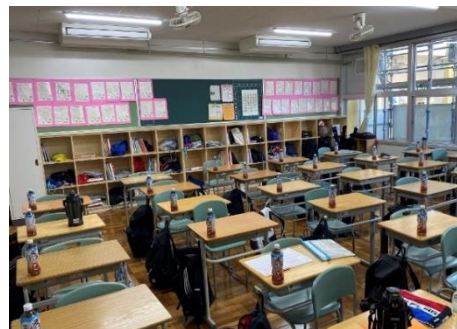
一つ一つを意味のあるものにするという意識を強くもって取り組めば、さらに一回りも二回りも成長できる2学期になると思います。

第二期改造工事で新しくなりました

6月から始まった大規模改造工事ですが、夏休み中に、急ピッチで作業を進めました。各クラスの教室や廊下、運動場、テニスコートなどが新しくなり、2学期から使用できるようになりました。

教室は、LED照明に変わり、大変明るくなりました。また、教科書のサイズが大きくなったこともあり、それに合わせてロッカーのサイズも大きくなりました。しかし、ロッカーが以前より高くなり、背面黒板を書くことが難しくなったため、台を用意することになりました。

しかし、まだ、第二期改造工事は完全に終了しておらず、北校舎北面の塗装や誠心館の改装工事、中庭の造成などが残っています。



新グラウンド・コートの使い心地

新学期になり、授業や部活動で、新しくなったグラウンドやコートを使い始めました。各部活動から使い心地の感想を聞きました。

《男子ソフトテニス部 佐藤慶二さん》

コートがきれいになって、でこぼこだった所が無くなり、プレーしやすくなりました。部員のみんなもうれしそうにしている、練習に身が入ると思いました。

《女子ソフトテニス部 荒川柚凜さん》

前までは地面ががたがたで、ボールがうまく跳ねないことがありましたが、新コートになり、走りやすくなって、うまくボールが跳ねるようになりました。

《野球部 中尾和樹さん》

新しい運動場はまだ固く、滑ったら痛かったりもしますが、バウンドが以前より弾むようになり、水はけもよくなったようです。練習時間を増やすことができると思うので、今まで以上に頑張りたいと思います。

《ソフトボール部 栢木郁未さん》

今までは、雨上がりのグラウンドの水はけが悪く、自分たちで水取りをする時間があり、練習時間が短くなってしまっていたのですが、これからは水はけのよいグラウンドで、チーム全員で練習に励み、目標達成を目指したいと思います。

《陸上部 梶田優月さん》

とても砂がさらさらしていて走りやすいです。大きい石がなく、けがをしにくいからよいなと思いました。

《サッカー部 山田悠貴さん》

水はけがよくなったが、転んだとき少し痛かったです。ただ、でこぼこがなくなり、イレギュラーが少なくなり、思うようにボールが蹴れるようになりました。

